

企業誘致懇話会の設置を？

必要性は感じている！



八柳良太郎

質問 秋田県が主催する企業誘致の働き

かけに、仙北市も参加しているが、どのような考えで対応しているか。また仙北市として物産開発や起業に関し、どのような取り組みをしているかを伺いたい。さらに東京かくのだて会に働きかけ、本市出身の企業人等による企業誘致懇話会設置を試みたらどうか。

答弁

企業誘致活動に仙北市はこのたびも参加し、各企業にアピールする機会をいただいた。特に仙北市の景観や交通アクセスの良さを訴えることができた。また誘致に関する優遇措置など条件等も説明し、企業に呼びかけた。

次に起業に関してだが、アグリビジネスの支援を行ない、米パンやそば屋など具体化した。今後も農林産物の販売増をめざし、JAや商工会とタイアップして全体の底上げを図りたい。

企業誘致懇話会設置の必要性は十分理解できるのでその方向で取組みたい。



相模鉄道の二俣川駅で行われた山の薬市

質問

観光振興について何うが、一つはテニミリオン計画に関してだが、プロジェクトの取り組みは成果が上がっているのか。今期の観光客数の動向をどのようにみているか。平成22年度の目標は100万人増の720万人としているが、具体策は何かあるのか。また観光にも施設観光や行祭事別観光などあるが、それぞれの目標を設定しているか。

観光客数を増やすには、観桜会に匹敵する秋のイベントが必要と考えるがその点はどうか。現在の産業観光部体制では、経済効果を生み出す責任ある部署とはいえない。観光部と産業部に分離したらどうか。

答弁

観光対応については、「民」が主体で行政が支えになることを理想としている。このたびの男鹿和雄展の成果によって、そのことを深く認識している。今年の観光客の動向は16%の減少であり、その

要因は桜まつりの減である。いずれ観光客対応については、地道な運動の積み重ねが必要と承知している。

秋のイベントの必要性については観光協会もその対応を現在行っている。

観光部については来年度の組織体制のなかで検討したい。

旧角館東小学校を仮本庁舎としたらどうか？候補の一つと考えている！



高久昭二

質問 市民の利便性や市政の効率化を考えると分庁舎方式は早く

改めるべきでないか。この件についてはまだ検討中というが、旧東小を仮本庁舎としたらどうか。

次に不況下の雇用創出について、企業倒産による失業者の増や不況によるリストラなどにより、雇用状況は正規社員、非



本庁舎設置なるか旧角館東小学校

答弁 分庁舎方式に不具合が生じているので本庁舎新設について検討している。方向性について早い機会に検討委員会での報告をいただき、今年度中に場所と時期を明らかにしたい。旧東小もその一つであるが、整備が必要である。現在の分庁舎と変わらない状態の対応は考えない。

雇用対策について、県の対応は承知している。仙北市もその必要性は感じている。市内の企業も生き残りのためリストラを進めており、求職者は増えている。仙北市としてはまだ対策本部設置を検討していないが、他市の動向を確認し、設置等について判断する。また